

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-IV-6

4-IV-6

| | | | |
|-----------|--------------------------|--|--------------|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | 取組項目 | 民泊や遊休施設活用の推進 |
| | 節 IV.ホスピタリティの醸成 | 事業主体 | 佐渡市観光振興課 |
| | 事業(施策)名 6 遊休施設活用の推進 | 関連団体 | 佐渡地域振興局企画振興部 |
| | 事業実施期間 H28～R2 | | |
| 事業概要 | 【事業目的】 | ○ピーク時の宿泊施設不足への対応として、遊休施設の活用の推進を図る。 | |
| | 【事業内容】 | ○島内の遊休施設の所有者と活用方策について協議・検討を進める。 | |
| 30事業計画と実績 | 【30年度計画】 | <ul style="list-style-type: none"> ●相川地区佐州館の活用について地元と協議を行い活用方法を協議する。 ●民間遊休施設についてリストアップを行い宿泊施設として利用できるか活用方法を協議する。 | |
| | 【30年度実績】 | ●佐州館の宿泊について関係者から意見聴衆し、方向性を検討した。 | |
| 課題・今後の取組 | 【課題】 | <ul style="list-style-type: none"> ●公設施設での宿泊施設の推進が民業圧迫とならないか、運営形態も含め慎重に検討が必要である。 ●宿泊施設補助金の活用によるキャパシティの増加を図る必要がある。 ●佐渡市歴史的風致維持向上計画とあわせて検討する。 | |
| | 【今後の取組】 | ●周辺の遊休施設が宿泊施設として利用できるかどうか地元と引き続き協議を実施する。 | |
| 事業評価 | 【事業の達成度】 | 当初計画どおり活用方法について協議したため、本評価とする。 | |
| | 【事業実施の効果】 | [a ・ b ・ c] | |
| | 【総合評価】 | [A ・ B ・ C] | |

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。